

電子くじの仕組みについて

1 電子くじとは

電子入札システムで開札した際、落札となるべき金額で入札をした者が2者以上いる場合において落札者を抽選する機能です。

2 電子くじの仕組み

- (1) 電子くじ対象者に対し、入札書の提出順に0からの番号を割り振られる。
- (2) 電子くじ対象者が入力したくじ入力番号に乱数を加算し、その下3桁を「くじ番号」とする。
- (3) 電子くじ対象者の「くじ番号」をすべて加算し、電子くじ対象者数で除算する。この時の余りの値が「当たり番号」となる。
- (4) (1) で割り振られた番号と「当たり番号」が一致する入札者が落札（予定）者となる。

3 計算例

くじ対象者	入札書提出日時	応札順序
A社	2025年4月10日 8時30分00秒	0
B社	2025年4月10日 9時00分00秒	1
C社	2025年4月10日 10時00分00秒	2

くじ対象者	くじ入力番号	乱数	合計	くじ番号	応札順序	結果
A社	111	123	234	234	0	
B社	222	456	678	678	1	
C社	333	789	1122	122	2	落札（予定者）

※くじ入力番号と乱数の合計が4桁の場合は、その下3桁がくじ番号

【くじ番号合計】

$$234 + 678 + 122 = 1034$$

【当たり番号】

$$1034 \div 3 = 344 \text{ (余り2)}$$

この場合、当たり番号は「2」（くじ番号合計をくじ対象者数で除算した余り）となるので、応札順序で割り振られた数字が「2」であるC社が落札（予定）者となります。

なお、事後審査型制限付一般競争入札において、落札予定者が入札参加資格を有しなかったことが判明した場合は、無資格者を除いた同額の入札者で再度抽選を行います。